

# 提携米通信

2022年10月号・黒瀬農舎

## 悪天候続き・夏がないまま秋が来た！



### 大幅に遅れた手取り除草に悪戦苦闘！

今年は雨続きで田圃が乾かず、お盆過ぎからの草取り作業が不能。9月に  
入ってから、時期外れの草取り作業。

撮影：2022.9.20

7月迄は、ほぼ好天で気温の  
高い日が多く、例年よりも早め  
にイネの穂ができ始め「今年は、  
稲刈りは早まりそう・・・」と  
思っていました。

ところが、8月に入ると  
線上降水帯が当地に長く居座り  
一日中快晴だった日は4日か5  
日だけで夏が来ない8月でした。

でも、冷害が出るほどの低温  
日がなかったことは幸いでした。

その後9月に入ってから、

天候はだいぶ好転しましたが、自然相手の米作り、我が農舎の今年の秋の収穫作業のスタートは、例年よりだいぶ遅くなりなりました。

振り返れば、7月末に落水し、田んぼが乾くのを待って、お盆過ぎから草取りの後半戦が始まる予定でしたが、落水後の天候は、ほぼ毎日雨となり、いつまで待っても田んぼが乾かず、ぬかるんで草取りに田んぼに入れずヤキモキの日々。雑草との戦い後半戦は、ほぼ不戦敗でした。

例年なら、稲穂が傾き始める9月5日頃からは、イネを傷めるため田んぼに入ることはありませんが、今年は仕方なく9月になってから、そして不十分ながら、最後の手取り除草を行いました。

この結果、無農薬栽培の田んぼの割余りは、手取り除草が出来ず仕舞いに終わり、この部分は雑草まみれ。この中の一部分は収穫出来ない場所も出そうです。

我が農舎の有機無農薬栽培の長い歴史の中では、悪天候に遭遇して、農薬を使わないことを原因とした、もっと手酷い被害を受けたことも何度かあり、それに比べればまだ軽微な被害。この災いを「**天災だ。仕方のないこと。**」と諦めずに、貴重な体験として今後の作業手順の改善・工夫に生かさねば勿体無いと思いながら稲刈り作業に精を出しています。

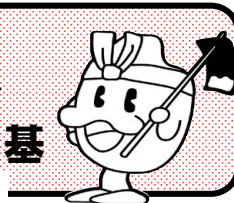
提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887



E-mail: [akita@kurose.com](mailto:akita@kurose.com) Web: [提携米 黒瀬農舎](#) 検索

★新米のご贈答利用もどうぞ  
お願ひします。

★定期購入の場合も、変更  
や前倒しの出荷休止は  
いつでも対応いたします。  
変更や休止は次のお米の  
お届けの5日ほど前まで  
にご連絡下さい。

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します（自宅兼事務所）。但し、電話受付の専任スタッフはいないため田圃や倉庫作業、外出の時は留守番電話対応となります。ご了承をお願いします。

また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性があります。迷惑メールやメールの設定をご確認下さい。

## 地球温暖化で、気象災害も様変わり

表のページのように、お米にとって大事な時期の8月が、晴天日がほとんどないまま終わりました。また、集中豪雨が何度も襲い、近隣の町や村では堤防決壊や土砂崩れなど住民避難騒動もあり、多くの皆さんから電話など頂きましたが、我が村ではお蔭様で被害はまったくありませんでした。ご心配やお見舞い頂き本当にありがとうございました。

8月の悪天候は、30年前の大冷害・米不足の大騒動が起きた1991年（平成3年）以来です。

ところで、昔から東北、北海道の冷害は、夏にオホーツク高気圧が優勢になって、ヤマセと呼ばれる北風が冷気を運ぶ現象です。

その冷気は、太平洋側では福島県まで南下。日本海側は津軽海峡を抜けた冷気が海辺に沿って秋田県の真ん中付近まで南下します。

冷気南下が日本海側の方が少ないのは、奥羽山脈で冷気が遮られるためです。

今回の夏の悪天候は、上記のような古来から東北地方定番の冷害現象ではなくて、近年各地を襲っている線降水帯の停滞が主原因で、気温は極端に低くなく、お米の大被害は免れました。

稲刈りがスタートしたばかりの現在では、正確な作柄はまだ判りませんが、近隣の生産者からの情報を総合すれば、近年にない不作のようですが、極端な品質の低下はない模様で、ホッとしているところです。

このように、東北地方も冷害被害はなくなったようですが、地球温暖化から来る線降水帯の集中豪雨に見舞われるなど、この30年で、気象現象も様変わりです。

パリ協定以来、温室効果ガスの削減、カーボンニュートラルが叫ばれていますが、プーチンのウクライナ攻撃によって、世界的なエネルギー危機を迎え、この動きの先行きが不透明で心配です。

さて、添付写真のように、我が農舎では籾摺り時に出る籾殻は、田んぼの排水を促す暗渠の大事な資材。これを保管する40坪程度の小さな小屋を手作り中です。コロナ問題、地球温暖化問題、それに追い討ちをかけたウクライナ侵攻で、小屋建設の骨組み用の鉄材、材木などどれも従来の倍以上に大高騰。100万円余りを予定の予算が300万円近く掛かりそうで大弱りです。



地面を均し、網鉄筋を配置中

### 手作りで小屋の建設中

籾殻を一時保管する小屋を作り始めました。

全部手作りのため、竣工は何時になるか判りませんが、バイトの若者の応援を得て、奮闘中です。

今日は、生コン車と圧送車を頼んで土間コンクリートを打ちました。

2022.9.15撮影



生コン車到着。打設スタート

# 告

年末のお餅やリンゴ、手作り味噌などの予約注文は

10月中頃にメール便でご案内します。

☆10月20日を過ぎても案内が届かない場合は、配達ミスの恐れがあります。

お手数ですがお電話などご一報をお願いします。

予約〆切：10月26日迄に投函

最近郵便遅れ気味です。ご協力お願いします。